

洗足学園音楽大学

サクソフォーン・オーケストラ 《冬の演奏会》

～創立 25 周年記念演奏会～



2020年12月20日(日)18:30 開場 19:00 開演

洗足学園 前田ホール 指揮：大井 剛史

D. ショスタコーヴィチ／祝典序曲 Op. 96

D. ショスタコーヴィチ／ジャズ組曲 No. 2

樽屋 雅徳／白磁の月の輝宮夜 (Princess KAGUYA)

鈴木 純明／Kyrie 4.5 (創立 25 周年記念委嘱作品)

長生 淳／パガニーニ ロスト

J. イベール／寄港地



△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

Program

D.ショスタコーヴィッチ (1906-1975) / 祝典序曲 *D.Shostakovich / Festive Overture op.96* （編曲 岩本 伸一）
この作品は1947年に10月革命30周年を記念して作曲された説と、1954年にロシア革命37周年記念の祝典のためにソビエト共産党中央委員会からの委嘱によって作曲されたと言う2つの説がある。初演は1954年にモスクワのポリショイ劇場にて行われた。ファンファーレで幕開けし、冒頭のファンファーレが終わるとプレストで明るく軽やかさが印象的な作品である。再度現れるファンファーレにはバンダが付け加えられており、壮麗に終わりを向かえるこの曲は彼の作品の中で人気の作品となっている。（3年木下佳音）

D.ショスタコーヴィチ / ジャズ組曲 第2番 *D.Shostakovich / Jazz Suite No.2* （編曲 宗貞 啓二）
ショスタコーヴィチ(1906～1975)は、旧ソビエト連邦の作曲家であり、世界的にも特に交響曲の大作曲家として認知されている。1919年に入学したペテルブルク音楽院の卒業作品である《交響曲第1番作品10》で大きな成功を収め、世界的な脚光を浴びる。1934年に作曲された《ジャズ・オーケストラのための組曲》は、ショスタコーヴィチの一流の個性が生かされている作品で、軽妙で哀愁を誘う名曲と言える。ソ連におけるジャズの普及およびバンドの向上を目的として作られた、極めて貴重な傑作である。（2年佐藤葵）

樽屋 雅徳 (1978～) / 白磁の月の輝宮夜 (Princess KAGUYA) *Taruya Masanori* （編曲 岩本 伸一）
樽屋雅徳は1978年生まれ作曲家、編曲家である。武蔵野音楽大学音楽学部作曲学科を卒業した。佐藤博、宮本良樹に師事し、大学卒業後は作・編曲活動の他、吹奏楽団体の指揮・指導も行っている。近年、注目を集めている作曲家の一人である。《白磁の月の輝宮夜》は千葉県立幕張総合高等学校の委嘱作品で日本人になじみの深い《かぐや姫の伝説》を題材にしている。アレグロ部分でのとめどない音の奔流は、“畏れ”の念を感じさせる。曲全体を通して「和」を基調とし神秘的でどこか哀愁漂う世界観が表現された作品である。（1年加藤恵莉菜）

～休憩～

鈴木 純明 (1970～) / 《キリエ 4.5》 サクソフォン・オーケストラのための～（創立 25 周年記念委嘱作品）*Suzuki Junmei /pour orchestra de sax0phones*
1920 年代——。ヨーロッパではトーキー映画が盛んになり、ラジオ放送が始まり、音楽においてはアメリカからジャズが輸入され、フランス 6 人組が活躍した。この 100 年前の芸術文化の華やかかりし時代と同じく、2020 年代もまた、新たな脈動を感じさせる生き生きとした芸術が花開く時代となって欲しい。その願いを込めて、サクソフォン・オーケストラのための《キリエ 4.5》は作曲された。
キリエとは、ミサ通常文の「あわれみの賛歌」のことで、本作品に借用されているのは、グレゴリオ聖歌のなかでも最も有名な《キリエ第 4 番》である。その旋律に基づいて、1920 年代の響き、すなわち当時ヨーロッパで流行したジャズの要素と複調によって作曲された本作品を、私は《キリエ 4.5》と名付けることにした。そしてこの作品は、世界的なサクソフォン奏者、原博巳さんへのオマージュでもある。あの凛とした美しい音色で、天国で演奏し続けている原さんにも、創立 25 周年を迎えた洗足学園音楽大学サクソフォン・オーケストラの響きが届くことを祈ります。（鈴木 純明）

長生 淳 (1964～) / バガニーニ・ロスト *Nagao Jun / Paganini Lost for saxophone Ensemble with Percussion*
長生淳は1964年に茨城県で生まれ幼い頃から音楽を初め、東京藝術大学を卒業し現在では東邦音楽大学講師を務めている。《バガニーニ・ロスト》は元々須川展也氏の委嘱により2008年に書かれた、2本のアルト・サクソフォンとピアノのための曲で、その際須川氏から「バガニーニ(24のカプリスの終曲)の主題を使って」との要望があり、その主題を見つけにくい形で象徴的に用いられた。これは須川氏の音楽における求道的な姿勢、「なにか」を追い求めるように主題を用いたものである。（1年葛城輝）

J.イベール (1890～1962) / 寄港地 *J.Ibert / Escales,3Tableaux Symphoniques* （編曲 岩本 伸一）
ジャック・イベールは、ピアニストであった母の影響で、幼い頃からヴァイオリンやピアノを始め、1910年パリ音楽院に入学する。第一次世界大戦中は海軍士官として従軍し、卒業後はローマ大賞を受賞し3年間ローマへ留学する。《寄港地》は留学中に提出された作品の一つで、イベールの出世作となった。留学中のスペイン旅行や、以前戦争中に海軍士官として地中海を航海した経験を基に、地中海のきらびやかな印象と異国情緒あふれる風景を美しく表現した作品である。（1年渋谷瑛奈）

ご挨拶

本日はコロナ禍で年末の最中、ご来場頂きまして誠にありがとうございます。お陰様で当団創立 25 周年を迎える事が出来ました。これもひとえにサクソフーンを愛する学生と教員スタッフ一同の研鑽の賜物と喜ばしく思っています。そして、成果発表としまして、度々お運び下さる皆様方に深く感謝申し上げます。今回の為に東京藝術大学准教授の鈴木純明氏に、記念作品を委嘱しました。サクソフーンの本場でもありますフランス音楽に造詣が深い鈴木先生の初演を含め、名曲をお楽しみ下さい。新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらここまでご指導頂きました指揮者の大井先生、履修生&スタッフ一同にこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

サクソフーン・オーケストラ 企画運営責任者 教授 岩本伸一

2024年12月

年の瀬の、寒さの身にしみる季節となりました。本日は「サクソフーンオーケストラ冬の演奏会」にお越し下さり、誠に有難うございます。コロナウイルスの影響で前期は対面での合奏がなかなか行えず夏の演奏会は中止となってしまいました。現在もまだ収束の兆しが見えない状況ですが、本日、無事演奏会を迎えることができとても喜ばしいと共に、開催できる環境が幸せであることを今年度は身に染みて感じます。このメンバーでの最初で最後の演奏会です。心を込め癒しあり迫力ありのサクソフーンオーケストラらしい熱い演奏をお届け致します。最後に、開催にあたりコロナ禍でありながらご指導をお願いしました指揮者の大井先生をはじめ、ご協力やご支援を賜りました皆様に心より感謝を申し上げます。

サクソフーン・オーケストラ 学生代表 3年 長谷川莉子

出演者

大井 剛史（指揮）

東京藝術大学指揮科を卒業、同大学院指揮専攻修了。2009～16 年現・千葉交響楽団常任指揮者、2009～13 年山形交響楽団指揮者、2013～17 年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。その他国内主要なオーケストラを指揮し、いずれも高い評価を得ている。現代作品、オペラ、バレエなど幅広い分野で活動中。2008 年アントニオ・ベドロッチィ国際指揮者コンクール第 2 位。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

洗足学園音楽大学 サクソフーン・オーケストラ

1995 年に我が国でいち早く合奏授業に取り入れられた、サクソフーンと打楽器から成る同族楽器のオーケストラ。ソプリロサクソフーン（ソプラノサクソフーンの 1 オクターヴ上の音域）からコントラバスまで、8 種類のサクソフーンが使用されている。主に本学主催の音楽祭で秋山和慶、増井信貴、松尾葉子、現田茂夫、梅田俊明、大井剛史、ヤン・ヴァンデルロースト各著名な指揮者を迎え、管弦楽作品を中心に演奏会を行っている。また、東京芸術劇場、横浜みなとみらいホールなど学外での演奏会、2010 年 11 月にはサクソフーン誕生の地であるディナン（ベルギー）を訪問、ストラスブール音楽院（フランス）にて演奏会を行い、大成功を収めた。サクソフーンならではの繊細かつダイナミックなサウンドを有するこれからの新たな演奏形態として注目され、高い評価を得ている。これまで、長生淳「翼をひろげて」、ピーター・グレイラム「宇宙戦争」、石毛里佳「ブラキスカ」、当代人気の作曲家にオリジナル作品を委嘱。2013、2014、2015 年国内最大級の音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンに参加し、精力的に活動を行っている。2012 年 6 月 P.グレイラム氏を迎えて「宇宙戦争」、2014 年 11 月アドルフサックス生誕 200 年を記念して「アドルフ・サックス 200」、2016 年 12 月我が国を代表する作曲家 保科 洋氏との夢の共演「復興」、3 枚の CD を（株）フロレスタンよりリリースされ、好評を博している。

Member

Concertmaster	秋山 圭輔 (4)	水島 梨佐子 (4)			
Sopranino	紺野 真奈美 (4)	倉元 明宏 (3)	清水 建吾 (2)		
Soprano	秋山 圭輔 (4)	水島 梨佐子 (4)	今川 萌 (3)	角谷 滯 (3)	藤堂 紗也 (3)
	三橋 正長 (3)	伊藤 輝瞳 (2)	岡本 彩花 (2)	寺東 春美 (2)	中條 花音 (2)
	石田 真彩 (1)	加藤 恵莉菜 (1)	楠本 夢菜 (1)	中原 雄太郎 (1)	八木 寛菜 (1)
	山中 杏実 ^b (3)	戸高 南美 ^b (1)			
Alto	近藤 沙耶 (4)	祐川 慧樹 (4)	國澤 美空 (3)	古梶 萌香 (3)	中崎 美羽 (3)
	本間 珠里 (3)	本間 美桜 (3)	谷口 綾乃 (3)	伊東 玲美 (2)	酒井 優希 (2)
	佐藤 葵 (2)	矢澤 亘 (2)	藪井 美羽 (2)	阿部 未来 (1)	亀澤 咲葵 (1)
	佐藤 零 (1)	志賀 友香 (1)	渋谷 瑛奈 (1)	鈴木 智尋 (1)	澁谷 隆宏(院)
	吉田 勇雅 ^b (1)	ZHANG XIAOHAN ^b (1)			
Tenor	金 樹冶 (4)	大塚 ユリア (3)	片岡 夏望 (3)	加福 夏子 (3)	黒澤 望愛 (3)
	齊田 明日香 (3)	辻 水紀 (3)	長谷川 莉子 (3)	岡本 真尋 (2)	加藤 舜理 (2)
	岸本 楓 (2)	福地 日向子 (2)	松岡 梨帆 (2)	水野 加奈子 (2)	大幸 拓未 (1)
	下藤 香花 (1)	高橋 沙綾 (1)	竹内 勇人 (1)	永吉 すす音 (1)	
Baritone	浅野 汐音 (4)	竹澤 歩実 (4)	宇座 麻理那 (3)	鹿島 理功 (3)	木下 佳音 (3)
	山口 紗弥季 (3)	兼田 柊子 (2)	川田 晶子 (2)	北岡 舞帆 (2)	久米 愛海 (2)
	大澤 茉依 (1)	葛城 輝 (1)	鈴木 ましろ (1)	山崎 遼介 (1)	
Bass	神山 龍翔 (3)	船木 彩香 (3)	齊藤 溪太 (1)	中瀬 凱大 (1)	
Contrabass	重井 拓人 (2)				
Percussion	金 蘭花 (4)	山本 佳伶 (4)	星野 啓祐 (4)	高橋 芽生 (3)	森 奈那子 (3)
	青柳 はる夏 ^b (3)	福光 真由 ^b (3)	杉本 裕香 (2)	大島 李央 ^b (4)	
Harp	山内 悠里佳 ^b	三谷 真珠子 ^b			
Piano / Celesta	西村 京一郎 ^b				

♪…演奏補助 #…賛助 b…オンライン受講生

企画運営責任者 岩本 伸一

指導教員 大貫 比佐志 貝沼 拓実 齊藤 健太 田中 拓也 本堂 誠
小川 佳津子 山田 徹

アカデミックコーディネーター 古川原 裕仁

助手 北野原 由依